

# 報告書抄録

ふりがな	おおやまだいいちいせきだいいちちてんはつつちようさほうこくしょ							
書名	大山第一遺跡第1地点発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第37集							
編著者名	斉藤 純・野澤 均・照林敏郎							
編集機関	朝霞市教育委員会(文化財課)							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2-7-22						TEL048-463-2927	
発行年月日	西暦2012年(平成24年)3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おおやまだいいちいせき 大山第一遺跡 第1地点	さいたまけん あさかし 埼玉県朝霞市 みやど ちようめ 宮戸三丁目 1065-5・-7・-8	11027	008-001	35度 49分 48秒	139度 35分 14秒	1991年 11月5日 ～ 1992年 2月8日	858	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
大山第一遺跡 第1地点	集落跡	旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 平安時代 時代不明	礫群1箇所 住居跡10軒 炉穴2基 集石遺構1基 土坑9基 方形周溝墓3基 ピット多数	礫 縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 石器 鉄製品	弥生時代後期後半の集落と墓域を確認。			
要約	大山第一遺跡第1地点は、旧石器時代～古墳時代・平安時代にかけての複合遺跡である。 旧石器時代では、IV層中～下層で礫群が確認され、剥片が出土している。縄文時代では、住居跡2軒、炉穴2基、集石遺構1基、土坑4基が検出され、早期～晩期の土器が多数出土している。弥生時代では、住居跡4軒、方形周溝墓3基が検出され、壺形土器・甕形土器等が出土している。古墳時代では、後期の住居跡2軒が検出され、須恵器・土師器等が出土している。平安時代では、住居跡2軒が検出されているが、遺物は遺構外からの出土であった。その他に時期不明の土坑5基、ピットが多数検出されている。							